

講義名	業界研究（金融）/企業論特別講義（金融）			授業形態	
担当教員	内山 勝久	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

この授業は、銀行や信用金庫、証券、損害保険、生命保険、ノンバンク等の金融業界における業務内容や課題を学び、理解を深めることを目的とします。授業では、各業界関係等に所属する実務経験者をお招きし、業界事情の基本的事項から最新動向まで、さらに地域経済との関わりなどについても実情を踏まえて講義していただく予定です（一部の授業は本学教員が担当します）。また、各金融機関が扱う金融商品の種類や特徴などを説明していただき、学生の金融リテラシーを高めることも意識します。想定する受講生は、将来金融機関や金融市場で働くことに関心がある学生、企業の財務部門で資金調達業務に関わりたいと考えている学生です。学生の所属学部・学科は問いませんが、「金融論」の授業で優良な成績を修めているか、証券外務員資格試験二種、あるいはファイナンシャル・プランナー（FP）技能士3級レベルの学習経験を有するなどの金融に関する予備知識があることが望まれます。

到達目標

自受講生が、
 (1)金融業界の実際（業務内容、課題や将来展望など）について理解を深め、自分自身の職業選択の一助とすることができるようになること、
 (2)金融制度や金融市場の仕組み、各種金融商品等に関する基礎知識を獲得し、自分自身の金融リテラシーを高めることができるようになること、
 を目指します。

提出課題

・授業内容に関する課題を、ほぼ毎回の授業で課します。
 ・期末には、期末レポート試験を課す予定です（詳細は授業内で説明します）。
 ・また、各講師からアンケートなどの提出を求められることがあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

・オムニバス形式の授業なので難しいかもしれませんが、もし時間に余裕があれば、提出された課題について適宜授業内でコメントしたいと思います。
 ・また、提出された課題は、その一部を授業を担当した講師に提供することができます。

評価の基準

・平常点（授業への参加度、発言の量や質などの授業への貢献度、課題の提出状況や出来栄など）85%、期末レポート課題15%で評価します。
 ・授業内での優れた発言や質問、質の高い課題の成果に対しては、満点を越えて加点点評価することがあります。

履修にあたっての注意・助言他

・金融業界を理解するためには金融制度や金融市場の仕組みなどの豊富な知識が必要となります。
 ・したがって、金融に関する予備知識が必要です。金融論の授業を履修し優良な成績を修めていること、証券外務員資格試験二種やファイナンシャル・プランナー（FP）技能士3級レベルの学習経験を有するなど、ある程度の金融リテラシーがないと、授業内容を理解する（単位を修得する）のは困難かもしれません。
 ・外部講師（社会人）による講義は、スピードが速い上に与えられる情報量が膨大になります（それが金融業界で働く社会人の常識です）ので、こうした形式の授業について行けるだけの集中力と高い情報処理能力が求められます。
 ・外部講師には宿題をもって押し、社会常識を踏まえた受講態度で臨んでください（遅刻や途中退室しない、帽子は脱ぐ、スマホで授業に無関係のサイトの閲覧に興じないなどの最低限のマナーが備わっていることは当然として、企業等で働く社会人から本学の学生がどのような目で見られているのか、どのように評価されているのかを強く意識してください）。
 ・私道等で授業を妨害する行為は、外部講師や他の意欲的な学生にとって大きな迷惑行為となりまますので、厳に慎んでください（集中力を維持してください）。
 ・関連する科目に「金融論」、「生活金融論」、「教養特講（生活のための金融知識）」、「業界研究（証券業）」などがあります。

教科書

・特定の教科書は使用しません。

参考図書

・なし。

その他

・授業は各講師が用意したスライドや資料を使って実施する予定です。各講師が用意する配布可能な資料は、事前にキャンパス・クロス経由で配布するか、もしくは授業開始時に教室で配布します。

授業計画

- 第1回 イントロダクション 【経済学部・内山】
- 第2回 大学生活とお金のこと 【全商銀行協会】
- 第3回 銀行界の動向 【全商銀行協会】
- 第4回 銀行界への就職する学生の傾向と対策：本学のケース 【経済学部・内山】
- 第5回 社会に出る前に知っておきたいマネーの知識 【日本証券業協会】
- 第6回 証券業界・証券市場って何だろう 【日本証券業協会】
- 第7回 暮らしの中の危険と損害保険 【日本損害保険協会】
- 第8回 損害保険業界の現状 【日本損害保険協会】
- 第9回 生活設計とリスク管理 【生命保険文化センター】
- 第10回 生命保険の基礎知識 【生命保険文化センター】
- 第11回 (仮)地域における信用金庫業界の取り組みについて 【信金中央金庫 地域・中小企業研究所】
- 第12回 (未定) 【日新信用金庫(予定)】
- 第13回 (仮)資金業界の現状と将来展望/金融トラブル防止について 【日本貸金業協会】
- 第14回 (仮)FPの仕事と将来展望/FP資格取得のすすめ 【日本ファイナンシャル・プランナーズ協会】
- 第15回 政府系金融機関の機能と役割/全体のまとめ 【経済学部・内山】

[] の中は、講義を担当する組織名あるいは教員名を表します。
 (仮) はテーマが仮題であることを表します(授業日までは正式なテーマをお知らせします)。
 講師の都合により、内容を変更する場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・授業前には、授業で採り上げるテーマについて、新聞・雑誌記事を検索したり、図書館で「金融業界」に関連する書籍を閲覧するなどして、情報を集めて要点をまとめてください：約1時間/回。
 ・授業中は、(1)記号が鮮明なうちに授業の要点をノートにまとめてください：約1時間/回。(2)その上で、授業で出された課題に取り組んでください：約1時間/回。(3)さらに、授業のなかで自分が関心を持ったトピックについて新聞、経済雑誌、信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、ノートにまとめてください：約1時間/回。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・この科目の「到達目標」を達成することで、金融業界に関する基本的な実務知識を獲得したり、業界の課題を理解したりすることができるようになり、あわせて、銀行・保険・証券などの金融機関は経済活動のあらゆる分野に関わる社会総論としての役割を担っていることを理解できるようになります。
 ・これは、経済学部の学生が卒業時に獲得しておくべき資質・能力である、経済全体を総合的・俯瞰的に捉えることができる能力が備わることにつながります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

・実務経験あり。
 ・外部講師は銀行・証券・保険など金融業界の各分野に精通しており、現場での豊富な実務経験を踏まえた業界事情や高度な金融知識を学ぶことができます。
 ・担当教員は政府系金融機関に31年間在籍し、融資等の企業金融実務の経験があります。

備考